

ME

MUSIC WORKSTATION/SAMPLER

EXPANDED

Operation Guide

追補版



Enhanced Definition
Synthesis



TouchView
Graphical User Interface



KORG Komponent System

REMS



KORG

目次

M3 XPANDED のおもな特長	3
PCM 拡張オプションのプログラムを演奏するには	5
新規プログラム、コンビネーションについて	5
クイック・スタート	6
PCM 拡張オプションのマルチサンプルをロードする	7
PCM 拡張オプションのマルチサンプルを取り除く（アンロード） ..	8
EX-USB-PCM のオート・ロード機能	9
PCM 拡張オプションのデモ・ソングを聴くには	10
クイック・スタート	10
シーケンサーの追加機能	11
トラック・ビュー・エディット	11
ピアノ・ロール・エディット	11
MIDI システム・エクスクルーシブ・データのエディット	11
ロケーションの表示追従機能	11
ユーザー・インターフェイスの改善	12
ベロシティ・メーター	12
タッチ・ドラッグ・エディット	12
KARMA 機能の拡張	13
KARMA 2.2	13
資 料	14
オペレーション・ガイド訂正表	14
各種メッセージの追加	14
M3 システム・ソフトウェア・アップデート概要	15
仕様	16
オプション	19

M3 XPANDED のおもな特長


PCM 拡張オプションの追加と、マルチサンプルのリニューアル

PCM 拡張オプション約 384MByte* のマルチサンプルを追加しました。従来の M3 の 256MByte* のプリセット・マルチサンプルから 2.5 倍の最大約 640MByte* が使用可能です。

* 容量は 16 ビット・リニア換算時のサイズです。

以下の PCM 拡張オプションのマルチサンプルが使用できます。

- EX-USB-PCM01: Brass and Woodwinds 1 (約 128MByte*)
- EX-USB-PCM02: Brass and Woodwinds 2 (約 128MByte*)
- EX-USB-PCM03: Stereo Grand Piano (約 128MByte*)

 これらのマルチサンプルすべてを同時に使用するためには、オプション (別売) のコルグ EXB-M256 サンプル・メモリー・エクステンション・ボードを装着する必要があります。装着しない場合は、いずれかの 1 タイトルを使用できます。

また、従来の M3 の 256MByte* のプリセット・マルチサンプルとドラムサンプル・データをリニューアルしました。

EX-USB-PCM01: Brass and Woodwinds 1

EX-USB-PCM02: Brass and Woodwinds 2

EX-USB-PCM01/02 Brass & Woodwinds は、自然な鳴りと演奏感にこだわったブラス、ウッドウィンズのライブラリーです。

- 約 256MByte* の PCM 容量を有し、オーケストラやポップスなど、さまざまなプロダクションに適したサウンドー 128 プログラム、32 コンビネーションです。
- フルーツはピッコロやアルト・フルート、トランペットならピッコロ・トランペットやコルネット、クラリネットはバス・クラリネットなど、あらゆる楽曲要求に応えられるようなバリエーションを一流メーカーの楽器でサンプリングしました。
- 各楽器での強弱、トリル、フォール、グロウル、スタッカートなどの多くの奏法バリエーションをサンプリングし、さらに M3 EDS シンセシス・エンジンにより、単なるサンプリング・データのプレイバックでは難しい、一音でも豊かな表現力をもつサウンドを実現します。例えば、ブレスサウンド + レガート・プログラムなどは最初の音はブレス音が強調されますが、続く音をレガートで弾けばブレス音がカットされ、より自然な演奏が可能です。その他、基本的なピブラートのバリエーション、スタッカート奏法に適したアタック感のあるバリエーションなども数多く収録しています。

EX-USB-PCM03: Stereo Grand Piano

EX-USB-PCM03: Stereo Grand Piano は、最高峰フル・コンサート・グランド・ピアノをワンポイント・ステレオ録音し、4 段階ベロシティ・スプリットにすることによって、豊潤かつ自然な響きと、緻密な表現が可能なサウンド・ライブラリーです。

- 約 128MByte* の PCM 容量を有し、クラシックからロック、ジャズなど、さまざまなプロダクションに適したサウンドー 7 プログラム、2 コンビネーションです。
- ステレオ音像イメージを大切にするためにワンポイント・ステレオ録音を採用しました。弦のアタックから減衰に至るまでの自然なステレオ音像を贅沢に収録しました。さらにダンパー・ペダルを踏んだときの開放された弦の自然共鳴音なども収録しました。これらの音を M3 EDS シンセシス・エンジンにより、鳴動する弦が無音に至るまでの自然な減衰や、ペダル・コントロールを忠実に表現します。

リニューアル・マルチサンプル / ドラムサンプル

従来の M3 の 256MByte* のプリセット・マルチサンプルとドラムサンプル・データをリニューアルしました。特に、ステレオ・ピアノや各種ビンテージ・キーボードのマルチサンプルを中心に強化し、リアルなピアノ・サウンドから、バンド・アンサンブルで使われるモノラル・ピアノや、その他、永くアーティストに愛用されているコルグ・サンプリング・ピアノ SG-1 や、テープ式サンプラーの PCM も収録しました。

プログラム / コンビネーションの新規追加とリニューアル

従来の M3 ver.1 の 512 プリロード・プログラム、および M3 ver.1.2 で追加された 512 プログラム、その他、32 ボコーダー・プログラムを合わせて、合計 1,216 (EDS) のプリロード・プログラムと 416 プリロード・コンビネーションが収録されています。

☞ このガイドの p.5「PCM 拡張オプションのプログラムを演奏するには」をご覧ください。

プログラムにおいては、同カテゴリーのサウンドを比較し易いように楽器タイプごとに整理しました。

Sequencer モードの追加機能

Sequencer モードにトラック・ビュー・ページ、ピアノ・ロール画面、MIDI システム・エクスクルーシブ・データのエディット機能などを追加しました。トラック制作がよりスムーズに行えます。

☞ このガイドの p.11「シーケンサーの追加機能」と「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF) の各説明をご覧ください。

KARMA2.2 機能に対応

KARMA 2.2 は、ユーザー GE メモリーの拡張や、シーン・チェーンとモジュール・トリガーのタイミング選択 (クオンタイズ) 等のさまざまな機能を盛り込んでいます。また、KARMA 動作中に GE を切り替えたとき、すべての GE においてシームレスに切り替わり動作するように改善されました。KARMA モジュール内でフレーズやパターンを生成する GE (Generated Effect) の書き替え可能なユーザー GE メモリー・エリアを 1,024 (128 x 8 バンク) に拡張しました。

☞ このガイドの p.13「KARMA 機能の拡張」と「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF) の各説明をご覧ください。

エフェクト・プリセット・データの追加

エフェクトごとにパラメーター設定のバリエーションが保存できるエフェクト・プリセット機能に、プリセット・データを追加しました。

プロフェッショナル・サウンド・クリエイターによる、即戦力となる合計 700 エフェクト・プリセットを使用することができます。

- ☞ 「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF) の p.102 「エフェクト・プリセット機能」と「M3 XPANDED Voice Name List」(PDF) をご覧ください。

プリセット・パターンの追加

リアルなドラム・パターン 149 を追加しました。

従来の M3 のプリセット・パターン数が 522 から 671 になり、ドラム・トラック機能、シーケンサーのソング制作や RPPR 機能でのバリエーションがさらに充実します。

- ☞ 「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF) の p.4、p.28、p.140、p.217、p.272、p.274 と「M3 XPANDED Voice Name List」(PDF) をご覧ください。

ユーザー・インターフェイスの向上

ノート・オン時のベロシティ値をメーターでリアルタイムに確認することができます。また、ディスプレイのノブやスライダーをドラッグして値が変更できるようになりました。(タッチ・ドラッグ操作)

- ☞ このガイドの p.12 「ユーザー・インターフェイスの改善」をご覧ください。

コルグ PCM 拡張オプション・データのロード機能の追加

Media モードに、コルグ PCM 拡張オプション・データをロード/アンロードする機能が追加されました。

- ☞ このガイドの p.6 「クイック・スタート」と「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF) の p.413 「0-7: EX-USB-PCM」をご覧ください。

M3 (system ver.1) や M50 のデータのコンバートが可能

M3 XPANDED では、M3 (system ver.1) や、M50 でセーブした PCG ファイルや SNG ファイルを、マルチサンプル・ナンバー等を適切なものにコンバートしてロードできます。(M50 の場合は、共通な機能に関してのみ対応)

- ☞ M3 XPANDED パラメーター・ガイド (PDF) の p.663 「M3 (system ver.1)、M50 との互換性」をご覧ください。

PCM 拡張オプションのプログラムを演奏するには

新規プログラム、コンビネーションについて


EX-USB-PCM01/02

- EX-USB-PCM01 を使用した 79 プログラム
- EX-USB-PCM02 を使用した 44 プログラム
- EX-USB-PCM01/02 の両方を使用した 5 プログラム
- プリロード・プログラム EX-USB-PCM01、EX-USB-PCM02 を使用した 32 コンビネーション

EX-USB-PCM03

- EX-USB-PCM03 を使用した 8 プログラム
- プリロード・プログラム EX-USB-PCM03 を使用した 2 コンビネーション

Note: PCM 拡張オプションのマルチサンプルを使用したプログラム / コンビネーションは、名前の末尾に EX1、EX2、EX1&2、EX3 などが付いています。

 使用する PCM 拡張オプション・データがロードされていない場合、これらのプログラム / コンビネーションは正しく発音しません。

リニューアル・マルチサンプルを使用したプログラム

従来の M3 ver.1 の 512 プリロード・プログラム、および M3 ver.1.2 で追加された 512 プログラムは、EX-USB-PCM03 のプログラムと共に、並び順を整理し、すべて収録しています。

ただし、リニューアルしたマルチサンプルを使用したプログラム、およびコンビネーションは、若干サウンドが変化しているものもあります。

クイック・スタート

1. M3 XPANDEDのUSB A端子に、KEPファイルが入ったUSBデバイスを接続します。

Note: USB デバイスに収録される KEP ファイルは、ルート・ディレクトリに置かれている必要があります。

2. 電源をオンにします。

システム・データがロードされているとき、M3 のディスプレイに赤色のプログレス・バーを表示します。ロードが終了すると、次に青色のプログレス・バーを表示し、EX-USB-PCM03 がオート・ロードされます。このときロード中の KEP ファイルのタイトル名をディスプレイ下部に表示します。

Note: 初期設定では、自動的に EX-USB-PCM03 がロードされます。

Note: ロード中は、KEP ファイルが入った USB デバイスを絶対に取り外さないでください。

3. EX-USB-PCM03を使用したプログラムを聴いてみましょう。MODE [PROG] スイッチを押して、Program モードに入ります。

4. Bank INT-A 000: Stereo Grand 4-Way 1 EX3 を選びます。これは EX-USB-PCM03 のマルチサンプルを使用したプログラムです。

他のプログラムが選択されているときは、“Program Select” を反転させ、BANK SELECT [I-A] スイッチ、テンキー [0]、[ENTER] スイッチを順に押しして選びます。

鍵盤やパッドを使い、演奏してください。

この他に、INT-A020 ~ 022 に EX-USB-PCM03 のプログラムが収録されています。

Note: PCM 拡張オプションのマルチサンプルを使用したプログラムやコンビネーションは、名前の末尾に EX1、EX2、EX1&2、EX3 などが付いています。

⚠ 使用するマルチサンプルがロードされていない場合、これらのプログラム/コンビネーションは正しく発音しません。

5. 次に、EX-USB-PCM03 を使用したコンビネーションを聴いてみましょう。MODE [COMBI] スイッチを押して、Combination モードに入ります。

6. Bank INT-A 000: Towards The Sun EX3 を選びます。

これは EX-USB-PCM03 のマルチサンプルを使用したコンビネーションです。

他のコンビネーションが選択されているときは、“Combination Select” を反転させ、BANK SELECT [I-A] スイッチ、テンキー [0]、[ENTER] スイッチを順に押しして選びます。

鍵盤やパッドを使い、演奏してください。

この他にも、INT-B016に EX-USB-PCM03のコンビネーションが収録されています。

7. その他の PCM 拡張オプション EX-USB-PCM01、02 のプログラム / コンビネーションを聴くためには、EX-USB-PCM ページまたは Load ページで、マルチサンプルをロードしてください。

オプション (別売) EXB-M256 を装着していない場合は、一度 EX-USB-PCM03 のマルチサンプルを取り除いて (アンロードして) から、EX-USB-PCM01 または 02 をロードしてください。

すでに EXB-M256 を装着している場合は、EX-USB-PCM03 のマルチサンプルを取り除く (アンロードする) ことなく、EX-USB-PCM01、02、03 すべてのマルチサンプルをロードすることができます。

以降の各項目をご覧ください。

☞ p.7 「EX-USB-PCM ページでのロード」

☞ p.7 「Load ページでのロード」

☞ p.8 「PCM 拡張オプションのマルチサンプルを取り除く (アンロード)」

下記は、PCM 拡張オプションを使用した各プログラム / コンビネーション・ナンバーです。マルチサンプルをロードした後、サウンドを確認してください。

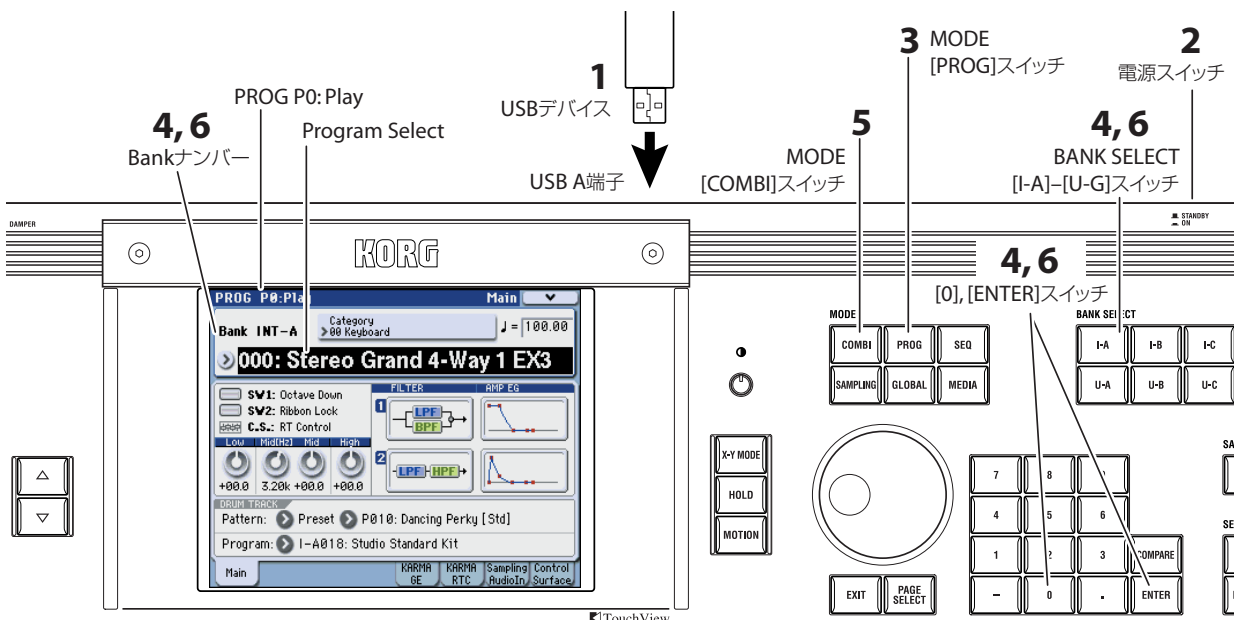
各 PCM 拡張オプションを使用したプログラム / コンビネーションプログラム

EX-USB-PCM03	INT-A000, 020 ~ 022, 028, 038 ~ 040
EX-USB-PCM01, 02	USER-E000 ~ 127

コンビネーション

EX-USB-PCM03	INT-A000, INT-B016
EX-USB-PCM01, 02	USER-E000 ~ 031

Note: EX-USB-PCM01、02のプログラム / コンビネーションは、USER-Eバンクに収録されています。USER-Eバンクは BANK SELECT [U-E] スイッチを押しして選びます。



PCM 拡張オプションのマルチサンプルをロードする

PCM 拡張オプション EX-USB-PCM01、02、03 のプログラムを使用するためには、対応するマルチサンプルをロードしてください。

Note: オプション（別売）EXB-M256 を装着していない M3 XPANDED は、EX-USB-PCM01、02、または 03 のうち、1 つだけがロードできます。オプション（別売）EXB-M256 を装着することによって、EX-USB-PCM01、02、03 すべてのマルチサンプルをロードし、使用することができます。PCM 拡張オプションを最大限に活用するためにも増設することをおすすめします。

EX-USB-PCM ページでのロード

1. M3 XPANDED の USB A 端子に、KEP ファイルが入った USB デバイスを接続します。

Note: USB デバイスに収録される KEP ファイルは、ルート・ディレクトリに置かれている必要があります。

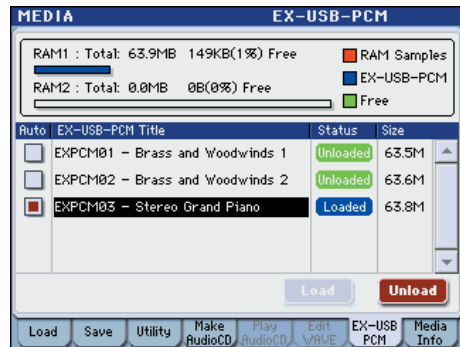
2. MODE [MEDIA] スイッチを押して、Media モードに入ります。
3. ディスプレイ右下の EX-USB-PCM タブを押して EX-USB-PCM ページを表示します。

上段には RAM1、RAM2 の使用状況を表示します。RAM2 はオプション（別売）EXB-M256 を装着したときに使用可能になります。

“EX-USB-PCM Title” に、EX-USB-PCM タイトルが表示されます。

4. ロードする EX-USB-PCM を選び、Load ボタンを押します。“Status” が Unloaded の EX-USB-PCM を選択すると、Load ボタンが有効になります。Load ボタンを押すと確認のメッセージが表示され、OK ボタンを押すとロードが実行されます。RAM メモリーの容量が足りないとき、または “Status” が Loaded のタイトルを選択したとき、このボタンは選択できません。

ロードが終了すると、“Status” が Loaded に変わります。また、ディスプレイ上段の RAM の使用状況を示すバーが緑色 (Free) から青色 (EX-USB-PCM) に変わり、RAM メモリーに EX-USB-PCM がロードされたことが確認できます。



Note: RAM1、RAM2 (EXB-M256 装着時) の両方に空き容量があるときは、RAM1 から順番にロードされます。

- Load ボタンが有効にならないときは、マルチサンプルを取り除いて (アンロードして) ください。(※p.8 「PCM 拡張オプションのマルチサンプルを取り除く (アンロード)」) または、Sampling モードでサンプルまたはマルチサンプルを削除してください。(※PG p.345、※p.347)

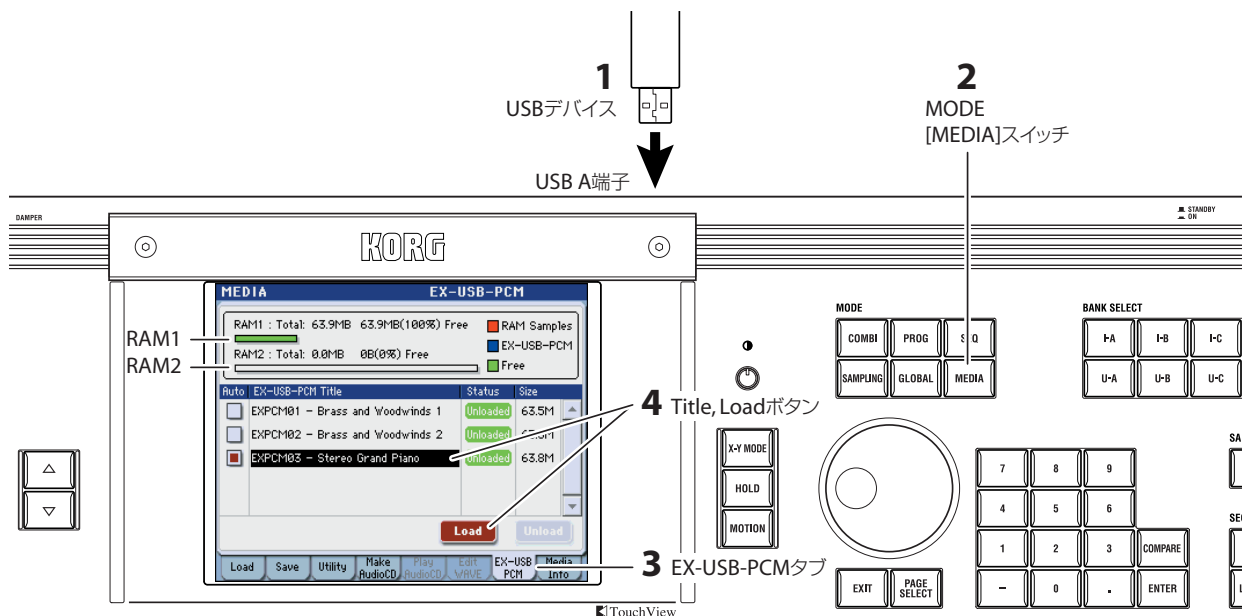
- PCM 拡張オプションのマルチサンプルは、M3 XPANDED 本体の電源をオフにすると、本体 RAM メモリーから消えます。M3 の電源を入れる度にロードする必要があります。ただし、オート・ロード機能を使用して、電源オン時に、マルチサンプルを自動で読み込むことができます。(※p.9 「EX-USB-PCM のオート・ロード機能」)

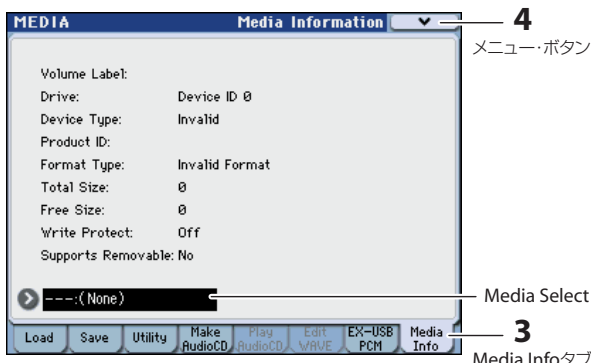
Load ページでのロード

PCM 拡張オプションのマルチサンプルは、前述の Media モードの EX-USB-PCM ページでロードする他に、同モードの Load ページ等からもロードすることができます。

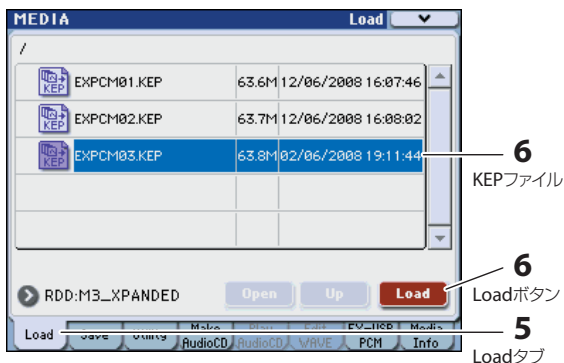
通常、EX-USB-PCM ページのリストに表示されていない EX-USB-PCM をロードするときに使用します。

1. M3 XPANDED の USB A 端子に、KEP ファイルが入った USB デバイスを接続します。
2. MODE [MEDIA] スイッチを押して、Media モードに入ります。
3. ディスプレイ右下の Media Info タブを押して、Media Info ページを選びます。





4. ディスプレイ右上のメニュー・ボタンを押し、“Scan USB device” を押しして実行し、USB デバイスを認識させます。
Note: USB A 端子に複数の USB デバイスが接続されている場合は、“Media Select” で、ロードするファイルが入っているデバイスを選択します。
5. ディスプレイ左下の Load タブを押して Load ページを選びます。
6. ロードする KEP ファイルを選び、Load ボタンを押します。



7. ダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して、ロードを実行します。
 EX-USB-PCM ページに表示されていない EX-USB-PCM をロードすると、この時点でリストにタイトルが追加されます。

KEP ファイルについて



拡張子が KEP (KORG EX PCM) のファイルは、拡張 PCM データを管理するファイルです。コルグ M3 XPANDED の独自フォーマットです。

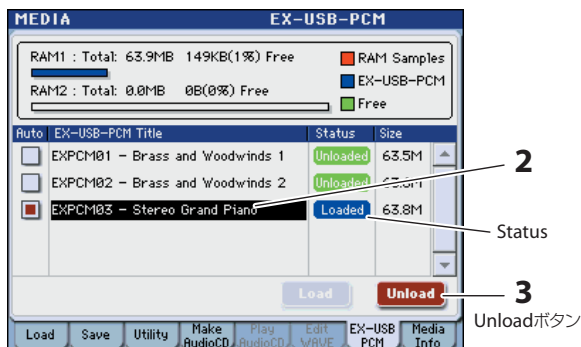
KEP ファイルは、PCM データとパラメーター・データを含みます。PCM データは、RAM メモリー (RAM1、RAM2*) にロードされます。パラメーター・データは、インターナル・メモリーのシステム領域にロードされます。(*: EXB-M256 装着時使用可)

M3 XPANDED 本体の電源をオンにしたときに、KEP ファイルのデータを自動的にロードさせることができます。(※p.9 [EX-USB-PCM のオート・ロード機能])

PCM 拡張オプションのマルチサンプルを取り除く (アンロード)

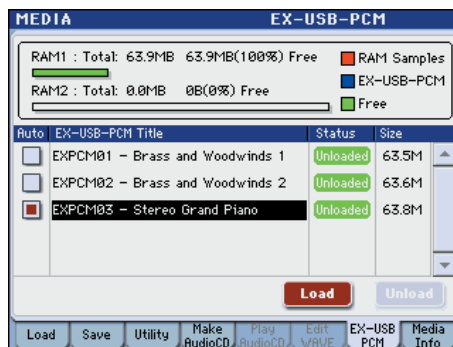
ロードした KEP ファイルのマルチサンプルは、M3 XPANDED 本体の RAM メモリーから取り除く (アンロード) ことができます。ロードしたマルチサンプルを取り除き、他の PCM 拡張オプションのマルチサンプルをロードしたり、サンプリングするための RAM メモリー容量を確保します。

1. MODE [MEDIA] スイッチを押して Media モードに入り、ディスプレイ右下の EX-USB-PCM タブを押して EX-USB-PCM ページを表示します。
2. ロードされている EX-USB-PCM を押して選びます。
 ロードされている EX-USB-PCM は “Status” で確認することができます。



3. Unload ボタンを押します。ダイアログが表示されますので、OK ボタンを押して、アンロードを実行します。

“Status” が Unloaded に変わります。また、ディスプレイ上段の RAM の使用状況を示すバーが青色 (EX-USB-PCM) から緑色 (Free) に変わり、RAM メモリーから EX-USB-PCM が取り除かれたことが確認できます。



4. 次にロードする場合は、ロードする EX-USB-PCM を選び、Load ボタンを押してロードしてください。
 EX-USB-PCM01、02 について、ロード、アンロードを繰り返して、順番にロードして、プログラムやコンビネーションのサウンドを確認してください。

EX-USB-PCM のオート・ロード機能

M3 XPANDED 本体の電源をオンにしたときに、USB A 端子に事前に接続した USB デバイスの EX-USB-PCM (KEP ファイル) を自動的にロードします。

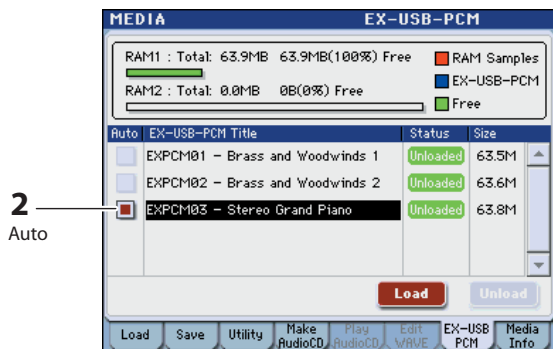
Note: USB デバイ스에 収録される KEP ファイルは、ルート・ディレクトリに置かれている必要があります。

オート・ロード設定

1. MODE [MEDIA] スイッチを押して Media モードに入り、ディスプレイ右下の EX-USB-PCM タブを押して EX-USB-PCM ページを表示します。
2. 電源オン時に自動的にロードする EX-USB-PCM を選択します。“EX-USB-PCM Title”の左側の“Auto”にチェックを付けます。

チェックすることができる数は、RAM1、RAM2 (EXB-M256 装着時) の容量と、各 EX-USB-PCM のサイズによって決定します。EX-USB-PCM のサイズが RAM メモリーの空き容量を超えると、チェック・ボックスがグレー表示になりオンにできません。

以上で設定が終了しました。



オート・ロード機能を使用する

1. M3 XPANDED の USB A 端子に、KEP ファイルが収録された USB デバイスを接続します。
2. M3 XPANDED の電源をオンにします。

システム・データがロードされているとき、M3 のディスプレイに赤色のプログレス・バーを表示します。ロードが終了すると、次に青色のプログレス・バーを表示し、EX-USB-PCM がオート・ロードされます。このときロード中の KEP ファイルのタイトル名をディスプレイ下部に表示します。

Note: ロード中は、KEP ファイルが入った USB デバイスを絶対に取り外さないでください。

Note: オート・ロード終了後、特にロードする必要がない場合は、USB デバイスを接続している必要はありません。

PCM 拡張オプションのデモ・ソングを聴くには

M3 XPANDED は、新規に追加した PCM 拡張オプションのプログラムを使用したデモ・ソングを収録しています。

EX-USB-PCM03	S000, S001, S002
EX-USB-PCM01, 02	S008 ~ S015

⚠ これらのソングは、対応する PCM 拡張オプションのマルチサンプルがロードされていないと、正しく発音しません。必ず事前にロードしてください。

クイック・スタート

1. Media モードで PCM 拡張オプションのマルチサンプルをロードします。
p.7 「PCM 拡張オプションのマルチサンプルをロードする」および p.8 「PCM 拡張オプションのマルチサンプルを取り除く (アンロード)」を参照して、ロードしてください。
2. 「M3 オペレーション・ガイド」の OG p.5 「デモ演奏を聴く」に従って、Global モードでデモ・ソングをロードし、Sequencer モードで、PCM 拡張オプションのマルチサンプルを使用したソングを選びます。
これらのソングには、名前の末尾に EX1、EX2、EX1&2、または EX3 が付いています。
3. [SEQ] スイッチを押して、Sequencer モードに戻り、SEQUENCER [START/STOP] スイッチを押して、プレイバックしてください。

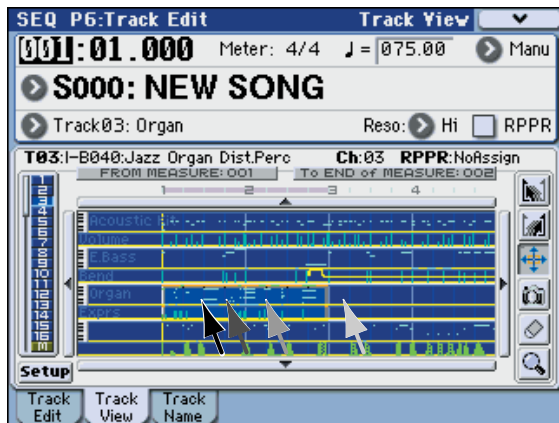
シーケンサーの追加機能

Sequencer モードに、トラック・ビュー・ページやピアノ・ロール画面が追加になりました。その他に MIDI エクスクルーシブ・データの編集が可能になりました。

トラック・ビュー・エディット

ディスプレイ上でドラッグなどの操作をして、小節の範囲指定や、移動、コピー、消去が行えます。より感覚的なエディットが可能になりました。

☞「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF)の p.244「6-2:Track View」をご覧ください。

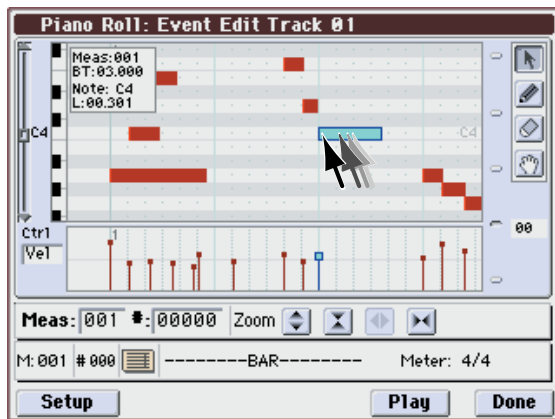


(ディスプレイ上の矢印はイメージです。)

ピアノ・ロール・エディット

ピアノ・ロール画面での、ノート、ベロシティ、コントロール・チェンジ等のエディットが可能になりました。イベントを選びドラッグなどの操作をすることによって、ピッチやタイミングを変更したり、消去、イベントの追加ができます。

☞「M3 XPANDEDパラメーター・ガイド」(PDF)のp.289「Piano Roll」をご覧ください。



(ディスプレイ上の矢印はイメージです。)

MIDI システム・エクスクルーシブ・データのエディット

イベント・エディット・ダイアログに、レコーディングしたパラメーター・チェンジやマスター・ボリューム等の MIDI システム・エクスクルーシブ・データのエディット機能が追加されました。

☞「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF)の p.287「Event Edit」をご覧ください。

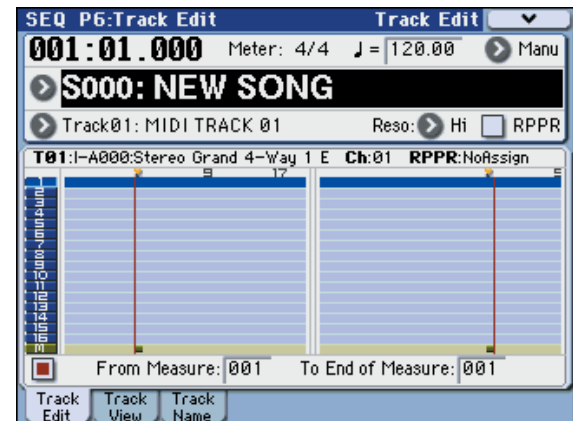
また、メニュー・コマンド“Create Exclusive Data”、“Erase Exclusive Data”が追加になりました。ユニバーサル・システム・エクスクルーシブ・メッセージ、M3 パラメーター・チェンジ・メッセージの各データを MIDI トラックの指定した範囲に作成したり、消去することができます。

☞「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(PDF)の p.301「Create Exclusive Data」,「Erase Exclusive Data」をご覧ください。

ロケーションの表示追従機能

Track Edit ページで、プレイ中のロケーション表示がトラックのグラフィック表示上でリアルタイムに追従するようになり、各トラックのイベントの有無が確認しやすくなりました。

左下の“Link From Measure to current location”チェック・ボックスにチェックします。



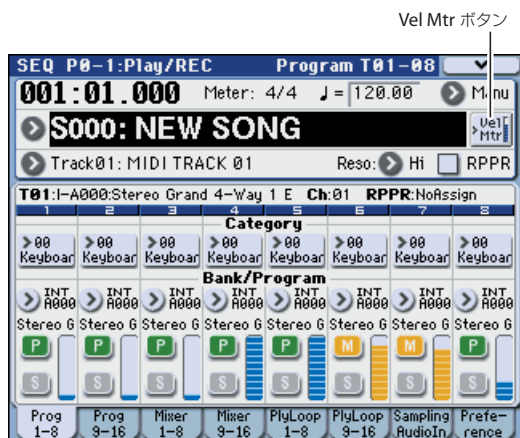
ユーザー・インターフェイスの改善

ベロシティ・メーター

Combination、Sequencer モードでは、ノート・オン時のベロシティ値をメーターでリアルタイムに表示します。発音中のティンバーやトラックを確認するときに便利な機能です。

Vel Mtr (Velocity Meter) ボタンを押すたびに、各トラックのベロシティ・メーターの表示 / 非表示が切り替わります。この設定は電源オフ後も記憶されます。

- 鍵盤、MIDI IN、KARMA、ドラムトラック、シーケンサー等による、ノート・オン時のベロシティ値を表示します。(同時に複数のノート・オンを受信時は、最高値のベロシティを表示します。)
- ノート・オン時のベロシティ値を表示するため、Volume スライダーの設定や、Filter、Amp、EG、LFO、EQ、エフェクトなどによる音声信号レベルの変化は、追従して表示しません。また KeyZone、VelZone 等の設定によって発音しない状態でも、追従しません。
- Play/Mute、Solo 機能の設定によって、プレイ状態のトラックは青色で表示し、ミュート状態のトラックは黄色で表示します。



タッチ・ドラッグ・エディット

ディスプレイのノブやスライダーをドラッグすると、値が変化します。

Note: 矢印が表示されて反応するまでには、少し時間がかかります。タッチ・ドラッグ操作は、ノブとスライダーを大まかに設定する目的で使用します。

Note: 細かい表示部の操作には、市販のスタイラス・ペン等を使用すると便利です。

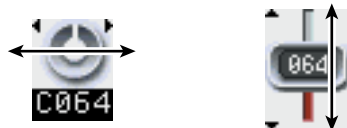
ノブ

ノブに触れると、左右の矢印が表示されます。この状態で左右にドラッグすると、ノブが動き、値が変化します。

ノブがパンの場合は、12 時方向にドラッグすると C064、6 時方向にドラッグすると RANDOM が設定されます。

スライダー

スライダーに触れると、上下の矢印が表示されます。この状態で上下にドラッグすると、スライダーが動き、値が変化します。



有効なページとパラメーター

Combination/Sequencer での例

- P0: Mixer - Pan ノブ、Volume スライダー
- P0: KARMA RTC - スライダー
- P0: Sampling - Recording Level スライダー
- P0: Control Surface - 各種スライダー
- P2: Trim/EQ - 各種ノブ
- P7: IFX Setup - Pan ノブ
- P8: MFX/TFX - 各種ノブ など

その他、各モードのノブとスライダーはすべて対応します。

トラック・ビュー、ピアノ・ロール

Sequencer モードの新しい Track View ページと Piano Roll ダイアログでは、小節範囲の指定や、ノートの移動や削除をドラッグ等の操作で行うことができます。

☞ このガイドの p.11 「シーケンサーの追加機能」をご覧ください。

KARMA 機能の拡張

KARMA 2.2

KARMA 2.2 は、ユーザー GE メモリーの拡張や、シーン・チェンジとモジュール・トリガーのタイミング選択 (クオンタイズ)、ノート・マップ機能の改良等、さまざまな新機能を盛り込んでいます。

ユーザー GE の拡張と GE データの作成/編集

KARMA モジュール内でフレーズやパターンを生成する GE (Generated Effect) を本体内蔵のプリセット GE2176 個に加えて、書き替え可能なユーザー GE メモリー 1024 個 (128 × 8 バンク) を拡張しました。

「KARMA M3」* (M3 専用のソフトウェア) を使用した場合には、GE のエディットと新規作成がコンピューター上で可能になります。GE を構成する 400 個以上もの内部パラメーターすべてがエディットでき、オリジナルのユーザー GE データとユーザー GE で使用するリズム・パターンや CC パターン等のテンプレート・データを作成することができます。作成した GE データは、USB ストレージ・デバイスまたは MIDI ダンプによって最大 1024 個 (128 個 × 8 バンク) まで M3 にロードして使用することができます。

* Karma Lab (www.karma-lab.com) 製。
Macintosh、Windows 対応。英語版のみ。

シーン・チェンジのクオンタイズ・トリガー機能を追加

シーン・チェンジは、♪ (16 分 3 連符) ~ 4 小節の単位でトリガーをクオンタイズできるようになりました (以前はすべてのシーン・チェンジが 16 分音符にクオンタイズされました)。大きな単位でシーン・チェンジが行えることによって、例えば、次の小節でシーンを切り替えるときに、余裕を持ってシーンを選んでおくことができます。そうしておけば、シーンが切り替わるときでも、両手で鍵盤を演奏し続けることができます。

Combination モードと Sequencer モードでは、クオンタイズを個別に 5 つのレイヤー (マスターとモジュール A ~ D) に適用することができます (PG p.168 「Quantize Window」)。Program モードでは一つの KARMA モジュールだけに適用されます。(PG p.6 「GE Bank Select」)

シーン・ステータスは、シーンを選択後、次のシーンに切り替わるまでの間、表示します。次のシーンに切り替わったと同時に表示が消えます。シーンが切り替わるタイミングを視覚的に確認することができます。(PG p.81、p.169 「Status」)

モジュールごとに調整可能なクオンタイズ・ウィンドウ

以前は、“Quantize Trigger” が On に設定されているモジュールのトリガー・タイミングは、16 分音符にクオンタイズされました。これは、DJ 的な複雑なプレイに威力を発揮しますが、通常の演奏で、特に速いテンポのとき、モジュールのタイミングをうまくとるのが困難でした。新しいバージョンでは各モジュールのクオンタイズ・トリガーを個々に設定できます。例えば、4 分音符や 8 分音符を使用してタイミングのミスを防ぐ一方で、16 分音符の複雑なエフェクトを連発させる、といったことも可能になります。また、3 連符を使用することでアップ・ビート (裏拍) のリズムも得ることができます。

クオンタイズ・ウィンドウは Perf RTP 機能により、コントロール・サーフェスからリアル・タイムで操作できます。例えば、ライブ・パフォーマンス中に、ブレイク・ダウンのところだけ速いタイミングを使用し、それ以外のところは長めのタイミングでシーン・チェンジをするといったことが可能になります。

(PG p.89、p.172 「Quantize Window」)

KARMA® (Kay Algorithmic Realtime Music Architecture) 技術は Stephen Kay のライセンスによるもので、米国特許番号 5,486,647、5,521,327、6,084,171、6,087,578、6,103,964、6,121,532、6,121,533、6,326,538、6,639,141、7,169,997、7,342,166 と、追加発行および出願中の外国特許により保護されます。

* KARMA®、KARMA のロゴデザイン、KARMA MW™、Generated Effect™ (GE)、Melodic Repeat™、Direct Index™、Manual Advance™、SmartScan™、Freeze Randomize™、Random Capture™、Random FF/REW™、Scene Matrix™ は、Stephen Kay、Karma-Lab LLC、www.karma-lab.com の商標または登録商標です。本マニュアルの著作権は株式会社コルグと Stephen Kay に帰属し、許可無く使用することを禁じます。

資料

オペレーション・ガイド訂正表

M3 XPANDED にアップデートすることにより、オペレーション・ガイドの以下の内容が変更になります。

OG 全般

M3 XPANDED は、M3 (ver.1) から、プログラム、コンビネーション、デモ・ソング、マルチサンプル、シーケンサー、KARMA 機能等のさまざまな機能が更新されています。そのため、同梱のオペレーション・ガイドの画面表示等は、一部異なることがあります。ご了承ください。

OG p.33

M3 Editor/Plug-In Editor の動作環境は、バージョンアップに伴い、変更になりました。最新ソフトウェアの動作環境は、最新版の「M3 Editor/Plug-In Editor 取扱説明書」(p.1) をご覧ください。

OG p.38

プログラム・バンク

Bank	Prog No.	説明	
INT-A...E	000...127	プリロード・プログラム	工場出荷時に取められているこれらのプログラムは、さまざまなマルチサンプル (PCM)、エフェクト、KARMA などを使用しています。
INT-F	000...127	EXB-RADIAS プログラム	別売の EXB-RADIAS を増設すると選択することができます。
G (GM)	001...128	GM2 キャピタル・プログラム	GM2 の音色配列に準拠した 256 プログラム、9 ドラムス・プログラムです。このバンクのプログラムは読み出し専用です。バンク G は 128 プログラム、バンク g(1) ~ g(9) では 128 プログラム、g(d) では 9 プログラムです。これらのバンクには、ライト (保存) することはできません。
g(1)...g(9)		GM2 バリエーション・プログラム	
g(d)		GM2 ドラムス・プログラム	
USER-A...E	000...127	プリロード・プログラム	バンク・タイプを EDS または EXB-RADIAS 用に切り替えることができます。異なるバンク・タイプに設定されているバンクにはプログラムを保存することはできません。Global モードのメニュー・コマンド "Set Prog User-Bank Type" で設定します。(PG p.397) USER-A...E については、上記 INT-A...E の「説明」参照。 USER-F はユーザー・サンプリング用推奨バンク。
USER-F, G		イニシャル・プログラム	

OG p.41

INT-A016: Real Suit E.Piano -> INT-A003: Real Suit E.Piano

BANK INT [A] スイッチ→テン・キー [3] → [ENTER] スイッチ

OG p.47, p.48

INT-B045: Smooth Operators -> INT-A120: Smooth Operators

OG p.64

コンビネーション・バンク

Bank	Combi. No.	説明
INT-A...C USER-E	000...127 000...031	プリロード・コンビネーション
INT-D...G, USER A...D, F, G	000...127	イニシャル・コンビネーション

OG p.116

バンク USER-F を Sampling モード用のプログラム・バンクとして使用することをお勧めします。

OG p.195

「All Preload PCG でロードされるデータについて」の「EXB-RADIAS を装着していない場合」の Program、Combination と Demo Song の設定が変更になります。

- Program:
Bank I-A...I-E, U-A...U-D (000...63), U-E
- Combination:
Bank I-A...I-C, U-E (000...31)
- Demo Song: S000...S005, S008...S015
All (Preload PCG and Demo Song) 実行時のみ

p.218 「仕様」については p.16 をご覧ください。

各種メッセージの追加

File contains unsupported data

内容: AIFF、WAVE、KSF、KEP ファイル等で、本機ではサポートしていないフォーマットのファイルをロードしようとした。

File unavailable

内容: KEP ファイル内のデータが不正でした。
KEP ファイルが壊れている可能性があります。
対策: KEP ファイルを USB デバイスに復元し直してください。

Not enough sample memory

内容: サンプルのメモリー (Sample パラメーターまたはサンプル波形データ) が足りません。
対策: サンプルを削除し、空きメモリーを増やしてください。
対策: Media モードの EX-USB PCM ページで、ロードされている EX-USB-PCM オプション・タイトルを Unload するか、Sampling モードで、サンプル・データを削除 (Delete) してください。

This title is already loaded

内容: すでにロードされた EX-USB-PCM オプション・タイトルをロードしようとした。

M3 システム・ソフトウェア・アップデート概要

システム・ソフトウェア Ver.1.2

M3 システム・ソフトウェア・バージョン1.2 では、512 個の新規プログラムを追加しました。

往年の名曲に使われていた独特のビンテージ・エレピから、ゴージャスなアコースティック・ピアノなど、鍵盤楽器系音色を中心に強化しました。その他にも、ギター、ブラス、ストリングス、シンセなどのバリエーションを大幅に追加しました。

M3 の EDS を使用したプログラム数は、この追加によって、合計 1,321 になります。(プリロード・プログラム : 1,056、GM2 に準拠したプログラム : 265)

なお、このアップデートによって、付属『オペレーション・ガイド』の以下のページが変更になります。

総プログラム数とプログラム・バンク構成

新規の 512 プログラムは、バンク USER-A ~ USER-D に追加されました。そのためバンク USER-A ~ USER-D は、プリロード・プログラムになります。

☞ 『M3 オペレーション・ガイド』 p.38 表「プログラム・バンク」
USER-A ~ USER-D : プリロード・プログラム
USER-E ~ USER-G : イニシャル・プログラム

☞ 『M3 オペレーション・ガイド』 p.218 表「音源部/数」
ユーザー・プログラム :
1,664 プログラム / 1,184 プリロード (EDS: 1,056 + RADIAS: 128)

All Preload PCG でロードされるデータについて

メニュー・コマンド“All Preload PCG”でロードされるプログラムが追加になります。

☞ 『M3 オペレーション・ガイド』 p.195 「EXB-RADIAS を搭載していない場合」

・ Program:
Bank I-A, I-B, I-C, I-D, I-E (000...031), U-A, U-B, U-C, U-D

システム・ソフトウェア Ver.1.1

M3 システム・ソフトウェア・バージョン1.1 では、以下の機能を追加しました。

EXB-FW 対応

別売の EXB-FW を装着することで、外部コンピューターと FireWire ケーブルを介して、オーディオ /MIDI インターフェイスとして使用することができます。

EXB-FW を動作させるには、このシステム・ソフトウェア Ver.1.1 以上と、M3 Editor/Plug-in Editor バージョン 1.5 以上が必要です。最新の M3 Editor/Plug-in Editor が使用できるコンピューターの動作環境とインストール方法については、「M3 Editor/Plug-in Editor 取扱説明書」をご覧ください。

EXB-RADIAS バーチャル・パッチの機能追加

バーチャル・パッチ、ディスティネーション・パラメーターを 27 種類、追加しました。コントローラーや EG/LFO でのより多彩なモジュレーションが可能になりました。

詳しくは、「EXB-RADIAS 取扱説明書」(p.28) をご覧ください。

EXB-RADIAS を動作させるには、このシステム・ソフトウェア・バージョン 1.1 以上と、EXB-RADIAS システム・ソフトウェア・バージョン 2.0 以上が必要です。

* 電源起動時のディスプレイに、EXB-RADIAS システム・ソフトウェア・バージョン「EXB-RADIAS (V2.0)」以降が表示されない場合は、コルグ・ホームページ (www.korg.co.jp) で最新システム・ソフトウェアをダウンロードして、インストールしてください。

ベロシティ・カーブの追加

標準カーブ #4 に比べて、弱打鍵のレスポンスをよりソフトにしたバリエーション #9 を追加しました。アコースティック・ピアノなどの音色で、ダイナミクスの広いベロシティ・コントロールが可能です。特に M3XP-88 でお薦めのセッティングです。

詳しくは、「M3 XPANDED パラメーター・ガイド」(p.370) をご覧ください。

M3 XPANDED 仕様とオプション

仕様

下線部が M3 から M3 XPANDED へ変更になった仕様です。

使用温度条件	±0 ~ +40 °C (結露させないこと)
--------	------------------------

KYBD-61/73/88 キーボード・アセンブリ

システム	KKS (KORG Komponent System)	
鍵盤部	88 鍵	RH3 (リアル・ウエイテッド・ハンマー・アクション3) 鍵盤 *RH3 鍵盤は、音域によって鍵盤の重量感 (低音部が重め、高音部が軽め) が 4 段階で異なり、グランド・ピアノのようなタッチ感が得られます。
	73 鍵	セミウエイテッド
	61 鍵	セミウエイテッド
コントローラー	ジョイスティック、リボン・コントローラー、SW[1]、[2]	
インターフェイス	TO MODULE (M3XP-M 音源モジュールとの接続用)、TO MODULE (2nd) (73-key、88-key モデルのみ)	

M3XP-M 音源モジュール

システム	EDS (Enhanced Definition Synthesis) オプション EXB-RADIUS による、MMT (Multi Modeling Technology) 音源の追加が可能。		
音源部	最大同時発音数	120 ボイス (120 オシレーター) シングル・モード時 60 ボイス (120 オシレーター) ダブル・モード時 * 最大同時発音数は、ステレオ・マルチサンプル、ペロシティ・クロスフェードなど、オシレーターの設定により実際の発音数が変化します。	
	プリセット PCM メモリー	256 Mbyte (16 ビット・リニア換算時) 1,032 マルチサンプル (ステレオ 7 個含む)、1,606 ドラムサンプル (ステレオ 116 個含む)	
	PCM 拡張オプション	EX-USB-PCM01: Brass and Woodwinds 1 約 128MByte (16 ビット・リニア換算時)、59 マルチサンプル (ステレオ 5 個含む) EX-USB-PCM02: Brass and Woodwinds 2 約 128MByte (16 ビット・リニア換算時)、47 マルチサンプル EX-USB-PCM03: Stereo Grand Piano 約 128MByte (16 ビット・リニア換算時)、10 マルチサンプル (ステレオ 5 個含む) RAM メモリーにロードすることによって使用できます。標準 64MByte の RAM メモリーには、1 つのタイトルのみがロード可能。EXB-M256 (オプション) 装着時に、3 つのタイトルを同時に使用可能。	
	RAM モリー	標準 64 Mbyte (ただし 512byte はシステムで使用)、EXB-M256 (オプション) 装着により、320 Mbyte に拡張可能。	
	プログラム (EDS)	オシレーター	OSC1 (Single), OSC1+2 (Double): ステレオ・マルチサンプル対応。 1 オシレーターにつき 4 段階ペロシティ・スイッチ/クロスフェード/レイヤーが可能。
		フィルター	4 種のフィルター・ルーティング (シングル、シリアル、パラレル、24dB) 1 ボイスにつき 2 基のマルチモード・フィルター (ローパス、ハイパス、バンドパス、バンドリジェクト)
		ドライバー	1 ボイスにつき 1 基の非線形ドライバー、ロー・ブースト
		EQ	3 バンド EQ (ミッドは中心周波数可変式)
		モジュレーション	1 ボイスにつきエンベロープ・ジェネレーター 2 基 (Filter & Amp)、2 基の LFO、キー・トラッキング・ジェネレーター 2 基 (Filter & Amp)、AMS ミキサー 2 基 その他に、Pitch EG、コモン LFO、コモン・キー・トラッキング・ジェネレーター 2 基
	コンビネーション	ティンバー数	最大 16 ティンバー、キーボード、ペロシティー・スプリット/レイヤー/クロスフェード、Tone Adjust 機能によるプログラムの設定変更可能。
		マスター・キーボード機能	外部 MIDI 機器のコントロール可能。
	ドラムキット	ステレオ/モノ・ドラムサンプルのアサインが可能。 4 段階ペロシティ・スイッチ (クロスフェード/レイヤー機能付き)	
	数: ... コンビネーション プログラム ドラムキット	ユーザー・コンビネーション	1,792 コンビネーション / 416 プリロード
ユーザー・プログラム		1,664 プログラム / 1,344 プリロード (EDS: 1,216 + RADIUS: 128)	
ユーザー・ドラムキット		144 ドラム・キット / 32 プリロード	
プリセット・プログラム		256 GM2 プリセット・プログラム + 9 GM2 プリセット・ドラム・プログラム	

サンプリング	オープン・サンプリング・システム	
	48kHz/16ビット・リニア、ステレオ/モノ・サンプリング	
	サンプリング・タイム (RAM)	RAM1: 64 Mbyte (標準装備) 最大でモノ約 11 分 39 秒、ステレオ約 5 分 49 秒。512byte はシステムで使用。
		RAM2: 256 Mbyte (EXB-M256 搭載時) 最大でモノ約 46 分 36 秒、ステレオ約 23 分 18 秒
		RAM1+RAM2: 計 320Mbyte。モノ約 58 分 15 秒、ステレオ約 29 分 7 秒 (RAM1、RAM2 連続サンプリングは不可)
	サンプリング・タイム (MEDIA)	USB ストレージ・デバイスへの最大サンプリング・タイムは、1 サンプル・ファイルにおいて、モノ/ステレオ共に最大で約 80 分。モノで約 440 Mbyte、ステレオで約 879 Mbyte を使用。
	サンプル/マルチサンプル数	4,000 サンプル/1,000 マルチサンプル (1 マルチサンプルにつき最大 128 インデックス)
CD-DA (オーディオ CD) の作成/再生/リッピング		
AIFF、WAVE、AKAI (S1000/S3000)、SoundFont2.0、KORG フォーマット・サンプル・データをロード可能。タイムストレッチ、タイムスライス、クロスフェイドループ等々、エディット機能。		
エフェクト	インサート・エフェクト	5 系統、ステレオ入出力
	マスター・エフェクト	2 系統、ステレオ入出力
	トータル・エフェクト	1 系統、ステレオ入出力
	ティンバー/トラック EQ	1 ティンバー/トラックにつき 1 基の 3 バンド EQ
	エフェクト・タイプ	170 種 (インサート、マスター、トータルとして使用可能。ただし、ダブル・サイズ・エフェクトはトータルでは使用不可。)
	モジュレーション	ダイナミック・モジュレーション、コモン LFO2 基
	エフェクト・コントロール・パス	ステレオ・サイドチェイン (リミッター、ゲート、ボコーダー等)
	エフェクト・プリセット	エフェクトごとに 32 メモリー、 <u>700 プリセット</u>
AUX バス	サンプリング、EXB-RADIAS へのオーディオ・ルーティング用、内部バス。2 系統。	
X-Y コントロール	X-Y MODE	タッチ・ビュー・ディスプレイを、X-Y コントローラーとして使用。Hold 機能。
	X-Y MOTION 機能	X-Y コントロールの指の動きをリアルタイムにレコーディング。プログラム/コンビネーション/ソング毎にメモリー可能
	Program モード	各オシレーターのパリウム、シンセ・パラメーター、エフェクト・パラメーターのコントロールが可能。
	Combination、Sequencer モード	各ティンバー/トラックのパリウム、シンセ・パラメータ、エフェクト・パラメーターのコントロールが可能。
KARMA	KARMA モジュール	Program モード: 1 基、Combination、Sequencer モード: 4 基使用可能。
	GE	2,093 プリセット、 <u>1,024 ユーザー GE</u>
	コントローラー	ON/OFF、LATCH、MODULE CONTROL、KARMA SLIDERS [1] ~ [8]、KARMA SWITCHES [1] ~ [8]、KARMA SCENES [1/5] ~ [4/8] (8 シーン)
	KARMA Wave Sequence	機能、Freeze Randomize 機能、Time Signature コントロール機能、Auto RTC セットアップ機能。
ドラムトラック	プリセット・パターン	<u>671 パターン</u> (シーケンサーのプリセット・パターンと共通)
	ユーザー・パターン	1,000 パターン。Sequencer モードで作成したパターンを、ドラムトラック・ユーザー・パターンへコンバートが可能。
	Trigger Mode/Zone	設定可能。
シーケンサー	トラック	16MIDI トラック +1 マスター・トラック
	ソング	128 ソング
	分解能	↓/480
	テンポ	40.00 ~ 300.00 (1/100BPM 単位)
	最大記憶容量	210,000 MIDI イベント
	テンプレート・ソング	16 プリセット/16 ユーザー・テンプレート・ソング
	キュー・リスト機能	20 キュー・リスト。最大 99 ステップのソング連続/リピート・プレイ。ソングへの再コンバート可能。
	パターン/RPPR 機能	<u>671 プリセット</u> /100 ユーザー・パターン (1 ソングにつき) RPPR (Realtime Pattern Play/Recording): 1 ソングにつき 1 パターン・セット使用可能。
	フォーマット	コルグ (M3) フォーマット、SMF フォーマット 0、1 に対応。
	イントラック・サンプリング機能、オート・ソング・セットアップ機能	
メディア	ロード、セーブ、ユーティリティ、オーディオ CD 作成/再生	
	データ・ファイラー機能 (セーブ/ロード MIDI エクスクリューシブ・データ)	
	CD-ROM/R/RW	UDF フォーマットの CD-R/RW への書き込みと読み込み、オーディオ CD の書き込み/再生 (CD-DA)、ISO9660 level1 ロード対応
	WAVE ファイル・エディット機能	
CD-ROM/R/RW については、市販の USB ドライブを接続時に使用可能。		

コントローラー	パッド	パッド [1] ~ [8] (ベロシティ対応)			
		[PAD MODE] スイッチ (Velocity Sensitive / Fixed Velocity)、CHORD ASSIGN スイッチ			
	コントロール・サーフェス	CONTROL ASSIGN スイッチ	MIXER(T1-8, T9-16, INPUTS)、REALTIME CONTROL、EXTERNAL、TONE ADJUST、KARMA		
		RESET CONTROL スイッチ			
		8 スイッチ	MIXER: PLAY/MUTE (SOLO)		
			REALTIME CONTROL: IFX1-5、MFX1、MFX2、TFX オン/オフ		
			EXTERNAL: エクスターナル・モード。外部 MIDI コントロール		
			TONE ADJUST: トーン・アジャスト機能コントロール		
			KARMA: KARMA コントロール		
		8 スライダー	MIXER: ボリューム		
REALTIME CONTROL: リアルタイム・モジュレーション					
EXTERNAL: エクスターナル・モード。外部 MIDI コントロール					
TONE ADJUST: トーン・アジャスト機能コントロール					
	* エクスターナル・モードでは、8 スライダー、8 スイッチ、8 パッドが MIDI コントローラーとして使用可能。128 個のセットアップをメモリー可能。(102 プリロード。ソフトシンセや DAW ソフトのコントロールが可能。)				
ドラムトラック	スイッチ =ON/OFF				
KARMA	スイッチ =ON/OFF、LATCH、MODULE CONTROL (Master/A/B/C/D)、SCENES [1/5] ~ [4/8]				
X-Y コントロール	スイッチ =X-Y MODE、HOLD、MOTION				
ユーザー・インターフェイス	ディスプレイ	タッチビュー・カラー・グラフィカル・ユーザー・インターフェイス、5.7 インチ、320 × 240 ピクセル LCD ディスプレイ、X-Y コントロール機能			
	Mode	スイッチ =COMBI、PROG、SEQ、SAMPLING、GLOBAL、MEDIA			
	VALUE コントローラー	スイッチ =[VALUE] スライダー、[VALUE] ダイアル、[Δ][▽] スイッチ、テン・キー・ブロック ([0] ~ [9]、[I]、[.]、[ENTER]、[COMPARE])			
	BANK	スイッチ =I-A ~ G、U-A ~ G			
	SEQUENCER	スイッチ =PAUSE、REW、FF、LOCATE、REC/WRITE、START/STOP			
	SAMPLING	スイッチ =REC、START/STOP			
	TEMPO	[TEMPO] ノブ、[TAP TEMPO] スイッチ			
	その他	[PAGE SELECT] スイッチ、[EXIT] スイッチ、[VOLUME MAIN] スライダー、ディスプレイ・コントラスト			
共通規格	周波数特性	20 [Hz] ~ 20 [kHz] ±1.0 [dB]	10 [kΩ] 負荷		
	THD+N	20 [Hz] ~ 20 [kHz] 0.08 %	(標準) 10 [kΩ] 負荷		
オーディオ・アウトプット	アナログ	AUDIO OUTPUT (MAIN) L/MONO, R AUDIO OUTPUT (INDIVIDUAL) 1, 2, 3, 4	6.3mm フォーン・ジャック (不平衡)、AUDIO OUTPUT (MAIN) L/MONO, R のみ [VOLUME MAIN] スライダーによるコントロールが可能		
			出カインピーダンス	1.1 [kΩ] (L/Mono 端子 Mono 出力時 550[Ω])	
			規定出力レベル	+4.0 [dBu]	
			最大出力レベル	+16.0 [dBu]	
			負荷インピーダンス	10 [kΩ] 以上	
			S/N 比	90 [dBu] (標準)	
			ダイナミック・レンジ	91 [dBu] (標準)	
			Headphone output	6.3mm ステレオ・フォーン・ジャック、[VOLUME MAIN] スライダーによるコントロールが可能。(AUDIO OUTPUT(Main)L/Mono 連動)	
		出カインピーダンス	33 [Ω]		
		最大出力レベル	32+ 32 [mW] 33 [Ω] 負荷		
	デジタル	オプティカル S/P DIF	フォーマット: 24 ビット、S/P DIF (IEC60958 EIAJCP-1201)		
			48kHz サンプル・レート		
			AUDIO OUTPUT (MAIN) L/Mono, R と同じ信号をデジタル出力		
		オプション EXB-FW	6 チャンネル、24 ビット、48kHz サンプル・レート		
AUDIO OUTPUT (MAIN) L/Mono, R, AUDIO OUTPUT (INDIVIDUAL) 1 ~ 4 と同じ信号をデジタルで出力。					

オーディオ・インプット	アナログ	AUDIO INPUT 1, 2	6.3mm フォーン・ジャック (不平衡)	
			MIC/LINE 切り替えスイッチ、[LEVEL] (レベル調整) ノブ	
			入力インピーダンス	10 [kΩ]
			ヘッド・ルーム	12 [dB]
			入力レベル範囲 LINE	-29 [dBu] ~ +4 [dBu] 以上 (標準)
			入力レベル範囲 MIC	-54 [dBu] ~ -17 [dBu] 以上 (標準)
	ソース・インピーダンス	600 [Ω]		
デジタル	オプティカル S/P DIF	フォーマット: 24 ビット、S/P DIF (IEC60958 EIAJCP-1201)		
	オプション EXB-FW	48kHz サンプル・レート 2チャンネル、24 ビット、48kHz サンプル・レート		
コントロール・インプット		DAMPER (ハーフ・ダンパー対応)		
		ASSIGNABLE SWITCH、ASSIGNABLE PEDAL		
		TO KYBD (キーボード・アセンブリ部との接続用)		
MIDI		IN、OUT、THRU		
USB	USB 端子 (TYPE A) x 2		USB 規格 Ver. 2.0 に準拠、ハイスピード (480 Mbps 対応)	
	USB 端子 (TYPE B) x 1		MIDI インターフェイス	
オプション EXB-FW		KORG FireWire Audio/MIDI インターフェイス、FireWire 端子 x 2 MIDI インターフェイス 1 イン 1 アウト、オーディオ 2 イン 6 アウト Virtualized Hardware (バーチャライズド・ハードウェア) 機能		
電源		AC 電源端子、POWER スイッチ		
本体外形寸法 (mm) (W x D x H)	M3XP-M	673 x 202 x 82		
	M3XP-M + KYBD61	1,016 x 372 x 121 (M3XP-M を収納した状態)、1,016 x 372 x 171 (M3XP-M を起こした状態)		
	M3XP-M + KYBD73	1,189 x 371 x 131 (M3XP-M を収納した状態)、1,189 x 371 x 207 (M3XP-M を起こした状態)		
	M3XP-M + KYBD88	1,425 x 442 x 131 (M3XP-M を収納した状態)、1,425 x 442 x 207 (M3XP-M を起こした状態)		
本体重量	M3XP-M	4.8 kg		
	M3XP-M + KYBD61	14.1 kg		
	M3XP-M + KYBD73	17.3 kg		
	M3XP-M + KYBD88	26.5 kg		
消費電力	M3XP-M	35W		
	M3XP-M + KYBD61			
	M3XP-M + KYBD73			
	M3XP-M + KYBD88			
付属品	ブラケット (M3XP-M のみ)、AC コード、取扱説明書 (M3 オペレーション・ガイド) CD-ROM (M3 XPANDED パラメーター・ガイド PDF、ボイスネーム・リスト PDF、KORG USB-MIDI ドライバ、 M3 Editor/Plug-In Editor、など)			

オプション

EXB-RADIUS	RADIUS シンセサイザー・ボード
EXB-FW	FireWire ボード
EXB-M256	256MB サンプル・メモリー・エクステンション・ボード
MA-L	リフトアップ・アタッチメント
MA-T	ラック・トレイ
XVP-10	エクスペリション/ボリューム・ペダル
EXP-2	フット・コントローラー
DS-1H	ダンパー・ペダル
PS-1	ペダル・スイッチ

* 製品の外観および仕様は予告なく変更することがあります。(2008年10月)

アフターサービス

■保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめサービス・センターへお問い合わせください。

■修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったら、まず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときは、サービス・センターへお問い合わせください。

■修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ご質問、ご相談について

修理についてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です
This Product is only suitable for sale in Japan.
Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03(5355)5056

● サービス・センター: 〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12
TEL 03(5355)3537 FAX 03(5355)4470